

論文審査の要旨
(Summary of Dissertation Evaluation)

博士の専攻分野の名称 (Major Field of Ph.D.)	博士 (文学) Ph.D.	氏名 (Candidate Name)	LUDIN SARIT (ルディン・サリト)
学位授与の要件	学位規則第4条第1項該当		
論文題目 (Title of Dissertation)			
コミュニケーションの多角的分析—言語、パラ言語、身体動作、及びそれらを統合する視点から—			
論文審査担当者 (The Dissertation Committee)			
主 査 (Name of the Committee Chair)	教授	高永 茂	
審査委員 (Name of the Committee Member)	教授	本田 義央	
審査委員 (Name of the Committee Member)	教授	今林 修	
審査委員 (Name of the Committee Member)	教授	小川 俊輔 (県立広島大学)	
〔論文審査の要旨〕 (Summary of the Dissertation Evaluation)			
<p>本論文は、日本語を対象にして言語、パラ言語（イントネーションや速度など）と身体動作（表情やジェスチャーなど）を総合的に分析することで会話者がどのようにコミュニケーションを実行しているかを明らかにするとともに、新しいコミュニケーションモデルを提案することを目的としている。</p> <p>本論文は第1章序論から第7章終章までの全7章で構成されている。</p> <p>第1章では、研究の背景、先行研究、課題と目的について述べる。従来の社会言語学においては、英語外来語の使用、パラ言語や身体動作などを個別に研究することが主流であった。そのため、それらの要素を統合して捉えるコミュニケーション研究は少ない。本論文では、3つの要素を一連のコミュニケーション方略として捉えて考察することを述べる。</p> <p>第2章ではコンテキストの定義と用語の説明を行い、文化のコンテキストの背景や特徴の面から、日本語における英語外来語の使用方法与パラ言語（沈黙と間）に関する分析結果について述べる。文化のコンテキストが言語ならびに非言語コミュニケーションを理解する上で重要であるとする。</p> <p>第3章では、①データの収集方法と分析方法、②「外来語」と「和製英語」の定義、③日本語の会話における英語外来語の特徴について述べる。収集（録音・録画）した会話の資料を分析して先行研究の結果と対照する。国立国語研究所とNHK放送文化研究所が実施した調査の結果と比較しながら英語外来語の使用傾向を明らかにする。</p> <p>第4章では、非言語コミュニケーションを中心に論述する。パラ言語はコミュニケーションにおいて言語情報と非言語情報を接続するものであるとする。口頭コミュニケーション、パラ言語、身体動作の関係を明らかにするため、収集した事例を観察者の視点から分析し、聞き手が話し手の発話をどのように解釈するかについて説明する。次にパラ言語と関連づけながら身体動作の意味機能を分析する。事例から28種類の身体動作が抽出されたことを述べ、各動作の意味機能について説明する。最後に非言語コミュニケーションと口頭コミュニケーションの関係モデルを提示する。</p> <p>第5章では、収集した事例を個人参加のインタビューと2人以上のグループインタビューとに分けて分析を行う。言語、パラ言語、身体動作の3要素を統合して「総合的コミュニケーション」と呼ぶこととし、第3章、第4章で取り上げた事例をさらに詳細に分析する。</p> <p>第6章では、第3章から第5章までで論じた発話者のコミュニケーション行動について、言語（英</p>			

語外来語)、パラ言語、及び身体動作を相互に関連づける包括的なコミュニケーションモデルについて述べる。よりスムーズな対人コミュニケーションを実現するための図式と、社会文化的背景を組み入れたデコード・エンコードプロセスの図式を提示する。

第7章では、本論文全体のまとめを行う。最後に今後の課題について述べる。

本論文は言語の分析から始まり、パラ言語と身体動作の分析を追加していき、3要素が絡み合うコミュニケーションの実相を克明に記述している。さらに包括的なコミュニケーションモデルを提案している。個別の事象の分析が詳細になされている一方で分析結果をどの程度一般化できるかという点に課題が残るものの、言語、パラ言語、身体動作を統合してコミュニケーションの構造を解明しようとした点で意欲的な研究として高く評価できる。

以上、審査の結果、本論文の著者は博士（文学）の学位を受ける十分な資格があるものと認める。

備考 要旨は、1,500字以内とする。

(Note: The summary of the Dissertation should not exceed 500 words.)